

衆議院小選挙区
選出議員選挙
(秋田県第1区)

選挙公報

令和8年2月8日執行
秋田県選挙管理委員会



website
昭和30年4月27日、秋田市太平山谷に農家の次男として生まれ、地元山谷小学校(開校)、太平中学校、秋田工業高校(定時制)を卒業後、秋田経済大(現ノースアジア大)に進学し、卒業。その後、16年間地元衆議院議員秘書として政治を勉強させていただき、39歳で県議会議員選挙に立候補、初当選。以来5期連続(18年)県議会議員を勤めたあと、平成24年12月の第46回衆議院議員総選挙に初出馬、初当選。以来5期連続で当選。

秋田から、未来を切り拓く。県民の生命と財産、そして暮らしを守る! 自民党

経済 手取りを増やす! 攻めの経済対策

国民が豊かさを実感できる経済へ。
食料品の消費税0%を実現致します
(2カ年限定)

物価高から暮らしを守るための大胆な減税を断行します。

- **ガソリン税・軽油引取税の暫定税率を完全廃止**
50年続いた不合理な税負担を撤廃。物流コストを下げ、家計を守ります。
- **「103万円の壁」の打破**
所得税の基礎控除等を引き上げ、働く意欲を阻害する壁を解消します。
- **危機管理投資の拡大**
インフラ老朽化対策や防災を「投資」と捉え、内需を喚起し、地域経済を活性化させます。

産業・エネルギー 洋上風力発電で産業集積

秋田は再生可能エネルギーのトップランナー。

- **再エネ先進国の取組み**
国が進めるGX戦略地域制度における産業団地脱炭素化推進事業に応募し、東北電力秋田火力発電所跡地に隣接する秋田市飯島地区の北部工業団地に立地を予定している秋田市主体のデータセンター集積型、秋田県主体の脱炭素電源活用型の採掘を、洋上風力発電立地地域の優位性を活かしてその産業集積を支援します。

医療・社会保障 安心できる「医療・介護」体制の再構築

人口減少時代でも、必要な医療がどこでも受けられる体制を守ります。

- **高度医療・創薬の強化**
日本発の革新的な薬や治療法を早期承認。世界最高水準の医療を国民に提供します。
- **医療DXの完遂**
マイナ保険証や電子カルテの100%普及により、検査の重複を防ぎ、窓口での手続きもスムーズに。
- **医療・介護現場の処遇改善**
現場で働くスタッフの賃上げを強力に支援。AI・ロボット導入で負担を軽減し、「辞めなくていい現場」を創ります。

農業 秋田の農業を守り抜きます

農業は国の基です。新たな食料・農業・農村基本計画に基づき、生産基盤を強化し、農家所得の向上と食料安全保障の確立を図ります。初動5年間で土地改良や施設再編、スマート農業を集中的に推進し、別枠予算を確保。規模を問わず担い手を育成し、適正な価格形成と米の安定供給、水田政策の見直し、中山間地域支援の拡充で秋田の農業を守り育てます。

子ども子育て教育 すべての子どもに、学び力と未来を

3.6兆円規模のこども未来戦略加速化プランを着実に実施し、妊婦のための支援給付や児童手当の拡充等、妊娠から子育てまで切れ目のない家族支援を実施します。加えて経済環境による教育格差の解消を目指し、高校授業料無償化・学校給食の抜本的負担軽減など、全ての子育て世帯への支援を拡充し、安心して子育てできる社会・質の高い教育を秋田で実現します。



自民党公認
とがし 博之

I am JAPAN ひとりひとりが日本

“3つの柱と9の政策”

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする ～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず **減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う **“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくれます。

2 日本人を守り抜く ～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 **食は人の天なり**
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 **エネルギーと資源確保が生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む ～教育・人づくり・国家観～

7 **子ども一人につき月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授けたいと思える環境をつくれます。

8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は **参政党**
とお書きください。



参政党の政策はこちらのサイトから!
秋田県横手市生まれ、秋田市に在住2年目。秋田大学教育学部卒業。元小学校教諭。趣味/筋トレ



参政党公認
さとうみわこ

国民 **木村** 民主党 **さちこ**

木村さちこ～愛する秋田のために～

私は秋田市生まれ、秋田市育ち。秋田の自然と教育に育まれ、東京大学法学部へ進学しました。

東京では弁護士として働きながら、年子の二人の子どもを育て、子育て世代の声を政治に届けたいとの思いから、台東区の区議会議員として地域の声を聴いてきました。

その中で強く感じたのは、
政治の力が本当に必要なのは地方だということです。

東京では当たり前の、子どもの医療費や教育費の無償化。同じように暮らし、働いているのに、東京と地方でここまで差があるのはおかしい。これは国全体の課題です。

ふるさと秋田のために働きたい。 弁護士、議員としての経験を、秋田の未来に活かしたい。

私、木村さちこは、国民民主党とともに、手取りを増やし、地方が豊かになる政治を実現します。

対決より解決へ。どうか皆さんの一票を、国民民主党・木村さちこに託してください!

39歳
秋田市出身
二児の母
弁護士



- ▶ 昭和61年2月18日秋田市生まれ、秋田市育ちの39歳
- ▶ 医師の父(下浜で診療所を開設、秋田大学医学部卒業)、高校教師の母のもとに生まれる
- ▶ 秋田市立東小学校、城東中学校、秋田県立秋田高校卒業
- ▶ 東京大学法学部卒業、中央大学法科大学院修了後弁護士に
- ▶ 2児の母(9歳、8歳)、共働き育児に奮闘中
- ▶ 2023年4月台東区議会議員選挙初当選(歴代最多得票でトップ当選)

- 【趣味】合唱、声楽、筋トレ、ダイエット
- 【好きな食べ物】もち、あんこ
- 【愛読書】松下幸之助「道はひらく」

国民民主党の政策5本柱

- 1 **もっと手取りを増やす**
- 2 **成長戦略「新・三本の矢」GDP1,000兆円**
- 3 **人づくりこそ、国づくり**
- 4 **自分の国は、自分で守る**
- 5 **正直な政治を貫く(令和の政治改革)**

木村さちこ公式サイト・SNSはこちら



国民民主党
きむら
木村 さちこ

衆議院小選挙区
選出議員選挙
(秋田県第1区)

選挙公報

令和8年2月8日執行
秋田県選挙管理委員会



秋田の人口減少を止めたい。
賑わいのある秋田をもう一度

維新が連立を組んだことでようやく政治が動き始めました。
社会保険料を下げる。道州制を見据えた地域分権。安全保障。
「改革を止めるな」
どうか私に改革の続きをやらせてください。

維新が動かす3つの改革

政策実現政党である。

ダブルエンジンとなり、しがみや大きな政党すらも動かしていく。

経済を動かす 日々の家計を支え、経済を動かしていく。

政治を動かす 約30年停滞しきっていた政治を動かしていく。

日本を動かす 日本列島を守り、秩序ある外国人政策を動かしていく。

松浦だいご プロフィール

1969年生まれ。神戸学院大学卒業後、1992年にABS秋田放送入社。アナウンサーとして、夕方の情報番組やスポーツ取材を担当した。秋田市で暮らし34年になる。2006年に退社し、2007年の参院選で初当選。一期務める。農政や地方創生、自殺問題、いじめ問題、性的マイノリティの人権問題、アニメ・マンガ・ゲームの表現の自由問題などに取り組んだ。

動かすぞ 維新が。

日本再起への12本の矢

日本維新の会 × 自由民主党 連立合意

01 経済財政関連施策 - ガソリン暫定税率廃止 - 電気ガス料金補助などの物価対策 2年間の飲食料品消費税ゼロ	02 社会保障政策 「三党合意」の実現 - 現役世代の保険料負担引き下げ - 社会保障改革項目の制度設計	03 皇室・憲法改正・家族制度等 - 皇位継承に向けた異性縁組の導入 - 憲法9条の改正 ※旧姓使用 - 日本国国章損壊罪の制定
04 外交安全保障 - 戦略三文書の改定前倒し - 和平調停に係る部署の創設 - 自衛隊の組織改革 ※国営工廠の促進	05 インテリジェンス政策 - インテリジェンスに関する国家機能の強化 - 国家情報局・情報要員養成機関の創設 - スパイ防止法の制定	06 エネルギー政策 - 原子力発電所の再稼働 - 次世代型エネルギー開発 - 国際海洋資源開発
07 食料安全保障・国土政策 - 食料の安定供給確保のための大型投資 - 環境・災害に配慮した大規模太陽光発電所(メガソーラー)の規制	08 経済安全保障政策 南西諸島における海底ケーブルの強靱性強化策推進	09 人口政策及び外国人政策 - 子育て政策を含む人口減少対策の実行 - 外国人の移入管理対策 - 土地取得の規制強化
10 教育政策 - 高校無償化・小学校給食無償化に向けた制度設計 - 大規模太陽光発電所(メガソーラー)の規制 - 科学技術創国立国復活のための投資	11 統治機構改革 首都機能のバックアップ・多極分散型経済圏のための「副首都」実現に向けた協議	12 政治改革 - 企業団体献金の在り方の見直し - 政党のガバナンス強化 - 衆議院議員定数1割削減 ※選挙制度改革



日本維新の会

松浦
だいご

国民のためにブレずにはたります

自民党政治を大もとからチェンジ!

人権
一人ひとりの権利、生き方と尊厳を尊重する政治に
■ 選択的夫婦別姓、同性婚の法制化。
■ ジェンダー平等社会を実現します。
■ 男女賃金格差を是正し、職場におけるあらゆる差別をなくします。
■ 子どもの権利を大切に、学びと育ちを支える国の制度を充実改善します。
■ 差別と分断をあおる極右・排外主義の政治には、厳しく反対します。



平和
アメリカ言いなりやめ、憲法9条にもとづく平和外交を
■ 「力の支配」をふりかざすトランプ米政権追随の大軍拡・戦争国家づくりを許しません。
■ 憲法違反の戦争法―安保法制を廃止します。
■ 核兵器禁止条約参加を求め、非核三原則を守り、法制化をすすめます。
■ 「互いに脅威とならない」の合意の立場で、日中関係を前向きに打開します。

暮らし
国民の暮らしを守る政治に
■ 物価高から
大企業・大株主への「富の集中」をただして、賃上げや減税、社会保障の財源を支えます。
■ 物価高を超え
る賃上げ、中小企業支援で
ただちに最低賃金1500
円以上に、手取り20万円以上の実現を。
■ 介護・医療・保育・福祉で働く労働者の賃金を大幅に引き上げます。
■ 消費税の廃止めざし、ただちに5%減税(年12万円)、インボイス制度を廃止します。
■ 食料自給率50%を早期に回復し、60%へ。
■ 米の市場任せやめ、ゆとりある需給計画に。

いま日本の政治は、多くの党が右へ右へと
となぎ、政治の中心では自民党政治にのみ
込まれる状況が生まれています。
この道では、直面する困難を解決するこ
とはできません。
大企業・アメリカ言いなりの自民党
政治を変えましょう。
大企業・富裕層にゆだねる負担を！
国民の暮らし第一の政治に！アメリカ
言いなりをやめ、外交の力で平和を！
どうか日本共産党を伸ばしてください。

●プロフィール
1976年 秋田市生まれ
薬山小、河辺中、大曲工業高校卒
1999年 日本民主青年同盟秋田県委員長
2011年 秋田市議会議員初当選(以後3期)
2024年 衆議院選挙秋田1区立候補
【現在】日本共産党秋田地区副委員長

選挙事務所:秋田市中通5丁目1-19
TEL.018-833-0101 FAX.836-6405



日本共産党
鈴木さとし



●秋田県出身「東北の命綱」——高橋ちづ子候補をふたたび国会へ

比例代表は日本共産党と政党名をお書きください。(候補者名は無効です)

秋田逆転 × 日本再生 秋田を、あきらめない。秋田から日本再生へ。

私は、政治をあきらめない。

秋田は、人口減少や経済停滞など苦しい状況にあります。これは秋田だけの問題ではなく、全国各地で起きている構造的な問題です。国会議員が各地に根ざし、適切な予算配分と政策実行で、地方でも安心して働き、学び、暮らし続ける持続可能な地域社会をつくる。私は、何より「暮らし」を真ん中において政治を目指します。

私は、秋田をあきらめない。

秋田には才能があります。資源もあります。可能性は無限にあります。政治が代わり、国の予算と政策が適切に届けば、秋田と日本の未来は必ず逆転できます。人口減少、産業振興、所得向上、健康寿命、地方創生、この全てを「あきらめない」政策を掲げ、秋田で暮らし働く全ての人々が報われる政治を実現していきます。

秋田逆転! 秋田から日本再生へ。

秋田の子どもたちに、「このまちで夢を描きたい」と言ってもらえるまで、決してあきらめません。政治を変え、構造を変え、秋田と日本の未来を必ず逆転・再生させていきます。残りの人生全てをかけて、地方から日本を再生する政治にチャレンジします。はやく周作に、ぜひ皆さまのお力をお貸しください。

はやく周作の「あきらめない」政策

今、国民は、右か左か、中道かという線引きをされています。私は、そうした対立ではなく、「国民一人ひとりの生活をいばんに考えた政治」が必要だと思っています。秋田から、地方で暮らし私たちの「生活と真ん中」をいばんに考え、豊かにし、日本を再生に導く政策を実行していきます。

人口減少をあきらめない

- 1 国の地方創生予算を人口減少地域に重点配分
- 2 賃金水準の向上、若者が地元に残れる日本に
- 3 UIターン促進、地方の優位性を全国に発信

産業振興をあきらめない

- 1 再エネ産業で地方をエネルギー拠点に
- 2 「地方スタートアップ特区」を全国に
- 3 挑戦が賞賛され、再チャレンジできる社会を

所得向上をあきらめない

- 1 質の高い雇用を地方に
- 2 DXによる生産性向上を全国の地方で
- 3 地域資源のブランド化、稼げる観光・農業へ

健康寿命をあきらめない

- 1 医療・介護への国の財政支援強化
- 2 地方の医療・介護人材確保を国の制度に
- 3 地方を「ウェルネス拠点」に

地方創生をあきらめない

- 1 「外国人が最も来たことがない」を逆手に取る
- 2 地方の「不便」を価値に変える
- 3 地方を「滞在型・内省型観光」に
- 4 地域文化を「世界コンテンツ」にする
- 5 食を「発酵・健康の拠点」に



《はやく周作の詳しい政策はこちらから》



早川周作(はやくわ・しゅうさく) 49歳

琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社(東証上場)創業者/秋田大学客員教授。1976年12月秋田市生まれ。明治大学法学部二部卒業後、羽田孜元内閣総理大臣私設秘書などを経て、コンサルティング会社を経営。2018年にプロ卓球チームを運営する琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社を創業。2021年にプロスポーツチーム運営会社として日本初の上場を果たす。

はやくわ周作の情報はこちらから》



はやくわ
しゅうさく
周作